



## 2024年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年6月13日

上場会社名 リンカーズ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5131 URL https://corp.linkers.net  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳宏  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 江頭 宏一 TEL 03 (6822) 9585  
四半期報告書提出予定日 2024年6月13日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年7月期第3四半期の業績 (2023年8月1日～2024年4月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	1,104	△12.4	△164	ー	△65	ー	△48	ー
2023年7月期第3四半期	1,259	16.0	124	21.5	119	17.4	96	5.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	△3.50	ー
2023年7月期第3四半期	7.33	7.20

(注) 1. 当社は、2022年10月26日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、2023年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2023年7月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 2024年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第3四半期	2,016	1,810	89.8
2023年7月期	2,083	1,843	88.5

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 1,810百万円 2023年7月期 1,843百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2024年7月期	ー	0.00	ー		
2024年7月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年7月期の業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,513	△5.9	△197	—	△97	—	△67	—	△4.88

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1） 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3） 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期3Q	13,747,000株	2023年7月期	13,638,000株
② 期末自己株式数	2024年7月期3Q	—株	2023年7月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期3Q	13,723,011株	2023年7月期3Q	13,155,516株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものです。

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、内需及びインバウンド需要の緩やかな回復への傾向が見られる中、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費等の上昇に伴う物価上昇、地政学リスクの拡大、さらには世界各国の金利・為替相場の変動等の影響も加わり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社は、「マッチングで世界を変える」というミッションのもと、企業と企業の出会いのあり方を見直し、従来の産業構造では成し得なかった最適な出会いを提供することで、多くのイノベーションを生み出す産業のしくみを国内外に築き、産業全体の生産性を最大化するための連携のハブとなる企業を目指すために、マッチングプラットフォームの運営を中心としたビジネスマッチング事業を展開しております。

サービス内容としては、ニーズ起点のマッチングを手掛ける技術探索サービス「Linkers Sourcing」、シーズ起点のマッチングを手掛ける用途開拓サービス「Linkers Marketing」、調達支援サービス「Linkers Trading」、SaaS型の金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、及び当該事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」の提供による探索・マッチングサービスと、技術ニーズ・シーズの調査を手掛ける「Linkers Research」を中心としたリサーチサービスを主たるサービスとしております。

当社が取り組むビジネスマッチング事業は、企業研究費の投下による新技術創出への動向や、製造業を中心とした設備投資の再開、地域金融機関の収益多様化に向けた取り組みなど、オープンイノベーションへの投資領域の拡大に伴い、需要は拡大していくと想定しております。一方で、国際情勢の悪化に起因する原材料・エネルギー・物流コストの高騰や、サプライチェーンの混乱による企業活動の停滞が、ものづくりの現場を直撃しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような事業環境の中、探索・マッチングサービスにおいては、「Linkers Sourcing」及び「Linkers Marketing」にて、期初より今後の探索ネットワーク拡大に向けて新たに海外探索サービスを開始いたしました。当該施策の立上げに営業リソース投下を行ったことから、海外探索サービスの案件数は概ね予算どおりに進捗するなど一定の成果が現れた一方で、手薄となった国内案件の受注獲得に向けて、期中に採用した営業人員の戦力化が想定よりも大幅に遅れたことから、受注獲得における先行指標である営業活動量が低下した結果、着手案件数については52件（前年同期67件）と前年を下回る結果となりました。

また、金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、並びに事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」を合わせた「LFB」は、「Linkers for Business」において商談がペンディングまたは失注となったことから新規導入がなかったものの、「Linkers for BANK」において新たに3機関に導入がなされたことで累積導入機関数が39機関（前年同期34機関）まで伸長したことで、月額利用料を中心にストック収益基盤が拡大いたしました。

リサーチサービスにおいては、前年度売上が好調であったマルチクライアントリサーチ（複数の企業に参加を募り、その調査結果を参加企業に限定して提供）の人気化テーマの減少に伴う販売活動の遅れの影響が続くとともに、期初より当該サービスの将来的な独自拡大を企図した施策の一環として、従来のクロスセルから部門独自の営業活動を行う体制へと変更を行いました。営業人員の採用が遅れたことから想定以上に営業活動が難航し、当初計画していた案件数の受注が困難となったことにより、「Linkers Research」の調査件数は256件（前年同期457件）と減少いたしました。

コスト面については、「Linkers Research」の売上高減少に伴うリサーチ外注費用の減少等により費用抑制がなされた一方で、将来の業容拡大に向けた強化施策である人材採用が進んだことによる人件費や採用関係費用の増加や、情報セキュリティ施策強化によるシステム関係費用等が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高は1,104,007千円（前年同期比12.4%減）、営業損失は164,804千円（前年同期は営業利益124,641千円）となり、営業外収益として補助金収入99,947千円を計上したことから、経常損失は65,375千円（前年同期は経常利益119,052千円）、四半期純損失は48,073千円（前年同期は四半期純利益96,367千円）となりました。

なお、当社はビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ66,734千円減少の2,016,427千円となりました。これは主に、無形固定資産の増加64,545千円の方で、現金及び預金の減少43,134千円、売掛金の減少71,894千円等によるものであります。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ34,115千円減少の205,987千円となりました。これは主に、賞与引当金の増加14,170千円の方で、未払法人税等の減少18,597千円、借入金の返済による長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少26,247千円等によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ32,619千円減少の1,810,440千円となりました。これは、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬としての新株発行に伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ7,727千円増加した一方で、四半期純損失48,073千円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は89.8%（前事業年度末は88.5%）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の業績予想につきましては、2023年9月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年5月24日に公表いたしました「2024年7月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,403,138	1,360,003
売掛金	169,835	97,940
仕掛品	9,336	4,235
その他	124,956	91,650
流動資産合計	1,707,266	1,553,829
固定資産		
有形固定資産		
建物	41,997	39,283
工具、器具及び備品	12,903	10,640
有形固定資産合計	54,900	49,923
無形固定資産		
ソフトウェア	188,620	233,818
ソフトウェア仮勘定	936	20,284
無形固定資産合計	189,557	254,103
投資その他の資産		
敷金及び保証金	57,009	55,187
繰延税金資産	74,323	93,343
その他	103	10,040
投資その他の資産合計	131,436	158,571
固定資産合計	375,894	462,598
資産合計	2,083,161	2,016,427
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	28,746	9,996
未払法人税等	29,802	11,204
賞与引当金	19,480	33,650
その他	138,729	135,289
流動負債合計	216,758	190,140
固定負債		
長期借入金	23,344	15,847
固定負債合計	23,344	15,847
負債合計	240,102	205,987
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	237,338	245,065
資本剰余金	979,213	986,940
利益剰余金	626,508	578,434
株主資本合計	1,843,059	1,810,440
純資産合計	1,843,059	1,810,440
負債純資産合計	2,083,161	2,016,427

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
売上高	1,259,870	1,104,007
売上原価	398,915	392,857
売上総利益	860,954	711,149
販売費及び一般管理費	736,313	875,954
営業利益又は営業損失(△)	124,641	△164,804
営業外収益		
補助金収入	1,020	99,947
その他	238	216
営業外収益合計	1,258	100,163
営業外費用		
支払利息	728	402
株式交付費	3,303	—
上場関連費用	2,815	—
その他	—	331
営業外費用合計	6,847	734
経常利益又は経常損失(△)	119,052	△65,375
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券清算損	3,284	—
特別損失合計	3,284	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	115,767	△65,375
法人税、住民税及び事業税	20,240	1,717
法人税等調整額	△840	△19,019
法人税等合計	19,400	△17,302
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,367	△48,073

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年10月26日開催の取締役会決議に基づき、当社取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ5,962千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が245,065千円、資本剰余金が986,940千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2022年8月1日 至 2023年4月30日）

当社は、ビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2023年8月1日 至 2024年4月30日）

当社は、ビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

**（重要な後発事象）**

当社は、2024年6月13日開催の取締役会において、当社のリサーチサービス関連事業を会社分割（新設分割）し、新設する「株式会社リンカーズOI研究所」に承継することを決議いたしました。

**1. 会社分割（新設分割）の目的**

当社は、企業が新規事業やマーケティングを行うにあたって直面する研究パートナーや技術パートナー探索、新規事業検討、R&Dのテーマ検討のための技術ベンチマーク調査及び出資先や提携先検討のための有力企業発掘など、企業が抱える様々な課題、情報の取得困難性に対して、技術専門性のあるリサーチャーが調査結果をまとめたレポート等を提供するサービスとして、2017年6月よりリサーチ事業を開始いたしました。

リサーチ事業については、ここ数年にわたって規模を拡大しており、2023年7月期においては、CAGRで約34%（2021年7月期比）と高い成長率を達成しております。

今般、当社の主要事業のひとつであるリサーチ事業を会社分割により別法人とすることで、経営責任の明確化を図るとともに、意思決定の迅速化及び機動的な事業運営を進めるとともに、技術情報リサーチに特化した独自のリサーチプラットフォームの拡充や、専門性をもった外部技術リサーチャーネットワークを軸に、リサーチ事業の更なる拡大を目指すことを目的としております。

これにより、当社および新設会社の事業展開の強化及び企業価値の向上に取り組んでまいります。

**2. 会社分割（新設分割）の概要****（1）分割日程**

新設分割計画承認取締役会決議日 2024年6月13日

分割日（効力発生日） 2024年8月1日（予定）

（注）本分割は、会社法第805条に規定する簡易分割であるため、株主総会の承認を得ることなく行います。

**（2）会社分割の方式**

当社を分割会社とし、新設会社を承継会社とする簡易新設分割であります。

**（3）会社分割に係る割当ての内容**

新設会社は、本新設分割に際して普通株式200株を発行し、その全てを当社へ割当交付いたします。

**（4）会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い**

当社が発行済の新株予約権について、本分割による取扱いの変更はありません。また、当社は新株予約権付社債を発行していません。

**（5）会社分割により増減する資本金**

本分割による当社の資本金の増減はありません。

**（6）新設会社が承継する権利義務**

新設会社は、本承継事業に係る資産、債務及び契約上の地位並びにこれらに付随する権利義務のうち新設分割計画において定めるものを承継いたします。

**（7）債務履行の見込み**

本分割後において、新設会社が負担すべき債務について、その履行の見込みに問題はないものと判断しています。

3. 会社当事者の概要

項目	分割会社 (2023年7月31日現在)	新設会社 (2024年8月1日予定)
(1) 名称	リンカーズ株式会社	株式会社リンカーズOI研究所
(2) 事業内容	ビジネスマッチング事業、他	リサーチ事業
(3) 設立年月日	2011年9月1日	2024年8月1日予定
(4) 本店所在地	東京都文京区後楽二丁目3番21号	東京都文京区後楽二丁目3番21号
(5) 代表者の氏名	代表取締役社長 前田 佳宏	代表取締役社長 國井 宇雄
(6) 資本金	237,338千円	100,000千円
(7) 発行済株式数	13,638,000株	200株
(8) 決算期	7月	7月
(9) 大株主及び持株比率	前田佳宏 19.32% 合同会社SAKUNANA 18.33% SBI AI&Blockchain投資事業有限責任組合 9.31% 加福秀互 5.94% 京侑株式会社 4.38% CGMI PB CUSTOMER ACCOUNT (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店) 1.08% 株式会社日経ビーピー 1.08% ソウルドアウト株式会社 1.08% 日本証券金融株式会社 0.84% リンカーズ従業員持株会 0.74%	当社 100%

4. 分割会社の直前事業年度の財政状態及び経営成績

純 資 産	1,843,059千円
総 資 産	2,083,161千円
1株当たり純資産	135円14銭
売 上 高	1,607,768千円
営 業 利 益	85,750千円
経 常 利 益	80,223千円
当 期 純 利 益	102,170千円
1株当たり当期純利益	7円70銭

5. 分割する事業の内容

(1) 分割する部門の事業内容

リサーチサービスの企画・開発・販売

(2) 分割する部門の経営成績（2023年7月期）

売上高 532,155千円

(3) 分割する資産、負債の項目及び金額（2023年7月31日現在）

資 産		負 債	
項 目	帳簿価格（千円）	項 目	帳簿価格（千円）
流 動 資 産	4,562	—	—
固 定 資 産	38,860	—	—
合 計	43,422	合 計	—

(注) 実際に承継する金額は上記金額に本分割の効力発生日までの増減を加除したうえで確定いたします。

6. 会社分割後の状況

本会社分割による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期についての変更はありません。

7. 今後の見通し

本件による当社の業績及び財務状況に与える影響は軽微です。また、新設会社である株式会社リンカーズOI研究所は当社の100%子会社となるため、当社は2025年7月期第1四半期より連結財務諸表作成会社となる予定です。